

ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォーム

孤独・孤立対策 推進シンポジウム



9/18 木
13:00~

現代社会では、家族や地域、職場などの「つながり」が弱まり、誰もが孤独や孤立に陥るリスクを抱えています。こうした課題に対し、県民をはじめ、行政・NPO・企業等の関係者が連携し、「誰ひとり取り残さない地域づくり」を実現することが求められています。

本シンポジウムでは、地域で暮らす県民一人ひとりが「つながり」の担い手となることの大切さを見つめ直し、日々の暮らしの中でできる支え合いの形を考えます。

基調講演

「誰ひとり取り残されないまち」

NPO法人抱樸 理事長 奥田 知志 氏

1963年生まれ。ホームレス支援を中心に、30年以上にわたり生活困窮者や孤立する人々の支援に取り組む。NPO法人抱樸では、住まいや就労支援、相談活動など、地域に根ざした包括的支援を展開。ひとりにしないための伴走型支援を提唱・実践している。



スケジュール

13:00 開会 … 13:10 基調講演 …… 14:05 シンポジウム …… 16:30 閉会
(受付は12:30から)

対 象

県民・行政職員・NPOや企業の方・民生委員児童委員・社協職員・関心のある方

参加方法

- ・当日(9/18) 会場参加 または オンラインによる視聴
- ・後日 動画配信による視聴 ※シンポジウム終了後、youtubeで限定公開を予定しています。

会 場

静岡音楽館AOI 7階講堂(会場定員 150人)

QRコードまたはURLからお申し込みください

<https://x.gd/zBNzZ> (URL短縮サービスを使用しています)

問合せ：社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会

電 話：054-254-5237 メール：notalone@shizuoka-wel.jp



9/5
申込締切

主催：静岡県・社会福祉法人静岡県社会福祉協議会(事業受託者)

シンポジウム

14:05～（予定）

コーディネーター

立教大学 特任教授 津富 宏 氏

法務官僚、社会学者（犯罪学・刑事政策・評価研究・青少年自立支援）。法務省矯正局調査係係長、浪速少年院教育部門統括専門官、矯正研修所教官、国際連合アジア極東犯罪防止研修所教官、静岡県立大学国際関係学部教授などを歴任。



鳥取市役所 総務部人権政策局
中央人権福祉センター
総括主査 川口寿弘 氏

鳥取市では、広域連携による「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」を中心に、地域食堂を子どもから高齢者まで多世代が安心して集える居場所として展開。企業・団体・行政が連携し、食材提供や学習支援、相談支援も実施し、市内約30か所で地域共生を推進している。



京都市下京区社会福祉協議会
事務局長 小野恵以子 氏

誰もが参加できる居場所「インクル」を中心に、社会的孤立の課題を抱える人をはじめ、住民、支援者、ボランティア、企業、学校などをタテヨコナメにつなぎ、どんな立場や状況にある人も役割や出番をもって一緒に取り組みを進める「タテヨコナメプロジェクト」を推進中。



東京都 立川市大山自治会
相談役 佐藤良子 氏

自治会が中心となり「孤独死ゼロ」を目指した取り組みを実践。住民同士が両隣の安否を確認し合い、異変があれば自治会へ連絡する24時間の体制を整備。新聞配達業者等とも連携し、異常があれば情報共有を行っている。「日本一住みたい団地」として、入居希望者が後を絶たない。

ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォームにご参画ください！

静岡県では、県民、行政、NPO、社会福祉協議会、社会福祉法人、企業等が協働し、それぞれの得意分野を活かして孤独・孤立の問題に対応していくため、「ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォーム」を設置しています。現在、趣旨にご賛同いただける皆様の募集しております。皆様のご入会を心からお待ちしております。



ポータルサイトはこちらから <https://notalone-shizuoka.jp/>



参加方法について

- ①会場参加する方は「静岡音楽館AOI 7階」へお越しください。静岡市葵区黒金町1-9（静岡中央郵便局と同じ建物です）駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
- ②当日オンライン参加する方、③後日動画視聴する方には、視聴するためのURLをメール送信します。

いずれの参加も申し込みが必要です。**9月5日まで**にお申し込みください。

